

ごあいさつ

取締役頭取(代表取締役)

浅沼 新

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

国内経済は、東日本大震災直後のサプライチェーンの寸断や電力不足といった供給制約の問題からは解消されましたが、円高の進行や世界的な金融市場の混乱による海外経済の減速という新たなリスクに直面しています。

一方、県内経済は震災の影響等で厳しい状況が続いているものの、復興需要により公共工事や住宅着工戸数が前年水準を上回り、また衣料品や飲食料品などの個人消費が増加し、景気は持ち直しに向けた動きがみられます。

当行においては、震災による地震や津波で宮古・釜石・大船渡・陸前高田・気仙沼・石巻・大崎の各市にある8店舗が、全壊・半壊・浸水・インフラ断絶などの被害を受けました。現在では、釜石・大船渡・高田支店が店舗移転や移動店舗「とうぎんキキララ号」を導入するなど、8店舗すべてが営業を再開し、金融機能の回復と金融サービスの提供に努めております。

また、平成23年3月期は震災による貸倒引当金を大幅に積み増したことから赤字決算となりました。平成24年3月期は計画通り黒字決算とすべく、役職員一丸となり中期経営計画において目指すべき姿として掲げた「郷土の成長を育む農耕型の経営を実践する銀行」を推し進めております。

今後とも経営理念である「地域金融機関として地域社会の発展に尽くし共に栄える」の考え方のもと、地域経済や産業の復興と発展を目指し邁進する所存であります。

より一層のご支援、お引き立てを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成24年1月